

2020年10月15日

「胎児頻脈性不整脈に対する経胎盤的抗不整脈薬投与に関する臨床試験
(2010～2017年)」にご参加いただき、胎児治療後に出生した
お子さまとご家族の方へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報を集めたり、これまでにご参加いただいた臨床試験の情報を利用したりするものです。この案内をお読みにになり、お子さままたはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やお子さまの情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

「胎児頻脈性不整脈に対する経胎盤的抗不整脈薬投与に関する臨床試験
(2010～2017年)」にご参加いただき、胎児治療後に出生したお子さま

【研究課題名】

胎児頻脈性不整脈に対する経胎盤的抗不整脈薬投与後の出生後発達評価に関する観察研究

【研究代表者】

白石 公 国立循環器病研究センター 教育推進部 部長

【当院における研究責任者】

寺町 陽三 久留米大学 小児科学講座 助教

【研究の目的】

胎児期に頻脈性不整脈を発症し経胎盤的抗不整脈薬投与を受けたお子さまの出生後の神経発達予後を明らかにすること

【利用するカルテ情報・資料】

出生後1歳6ヶ月、3歳の時点の身体計測、発達評価、神経発達検査、頭部MRI検査などの結果、頻脈性不整脈の再発や治療の有無などの出生後の経過
先行研究で収集した母体・胎児・新生児（生後1ヶ月まで）の情報など

【共同研究施設からの情報の提供】

上記のカルテ情報を、次の研究施設から国立循環器病研究センターへ提供し、共同で研究を進めます。

1. 国立成育医療研究センター
2. 三重大学
3. 久留米大学
4. 神奈川県立こども医療センター
5. 東邦大学医療センター大森病院
6. 大阪母子医療センター
7. 筑波大学
8. 岡山医療センター

【研究期間】

研究許可日より2022年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

またこの研究で得られた情報を将来、胎児不整脈の研究のため他の研究機関に提供し二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、久留米大学医に関する倫理委員会での審議を経て、病院長の許可を受けて実施されます。その際、文書を公開する場合は、久留米大学病院 臨床研究センター公式サイト

(<https://www.kurume-u.ac.jp/site/aro/inikansururinrioptout.html>)の「研究情報の公開（オプトアウト）」のページに掲載いたします。

【問合せ先】

久留米大学 小児科学講座 寺町 陽三
電話 0942-31-7565（小児科医局）

国立循環器病研究センター 教育推進部 白石 公
電話 06-6170-1069 内線（31030）